

2021年が終わろうとしています。振り返ってみると、どんな1年でしたか？やり直すことは出来ませんが、次の年を充実したものにするために、何をすべきか、何をすべきでないのか考えてみてください。100%の力を注ぐならば、何かを**する**としたら、何かを**しない**ことになります。何をしても良いかわからない場合は、何をしない方が良いか考えるのも1つの方法ですよ。冬休みに時間をとって考えてみましょう。

さて、今月のテーマは「心を耕す（趣味を見つける）」です。趣味に没頭しているときは、不思議なもので理屈ではない衝動で「お金」も「時間」も「体力」もかなりつき込んでしまうのです。全く興味がない人からすると、無駄に見えてしまうことでも、趣味に没頭している本人からすると「やりがい」もあるし、趣味に「価値」を見つけているのです。そういう意味では、趣味は1つの「自分らしさ」ではないでしょうか。何を趣味にしても良いわけなので、コレと決めて突き詰めても良いですし、あれやこれやと取っ替え引っ替え経験してみても良いかもしれません。趣味の良い所は、同じ趣味の人と心の距離をグッと縮めることができたり、珍しい趣味だと話のネタになって面白がってもらえたり、自分が楽しむだけでなく、他の人とのつながりになるのです。

実は山登りも趣味です

建設工学科 高松 孝規

父の話をして。彼は、いわゆるオーディオヲクダ。デジタル全盛の現代にあっても、大枚をつぎ込んだ自慢のオーディオで優雅に（いや爆音で）“レコード”を聴いている。もはや、「趣味は音楽鑑賞です」のレベルではない。また父は、我が子（3姉弟）が生れるたび「記念に」と高級オーディオを購入する奇行を繰り返し、母を困惑させた前科持ちの罪深き男でもある。しかも、好きが高じて新築した実家のリビングやダイニング、トイレや風呂にも天井スピーカーを埋め込み込んだ。そして、高松家には食事中はテレビNGという暗黙のルールがある。食卓を囲みながら、父がセレクトしたジャズを聴かなければならない。

私は、そのような環境で育った。みんな陽水やビートルズやマイルスやチャイコフスキーをレコードで聴いていると思っていた。でも本当はちょっと変な家庭だったんだ。だから私は、オーディオやレコードが大嫌いだ。いや…、大好きだ。何を隠そう、私の趣味は“レコード収集”である！

最近、気掛かりなニュースが。世界的にレコード人気再燃し、アメリカではCDの売り上げを上回ったそう。オーマイガー！と叫びたい。こんな記事を書いておきながら、本当は誰にもレコードに興味を持ってほしくない。ただでさえレコードの価格は急騰していて、更に上がると死活問題

だ。しかも、何年も探し求めた1枚を先に誰かに取られちゃう。どうか世界の皆さん、レコードに興味を持たないでください。一度ハマると、底なし沼から二度と抜け出せなくなりますよ？

では、エジソンがレコードを発明してから現在まで、レコードの何が人の心を掴んでいるのか。レコードラバーは「音が太くて温かい」と口を揃える。確かにレコードは音がいい。しかも、同じ曲でもプレスされた国や工場で音が違う。US盤は大味だし、日本盤は真面目な音がする。CDやデジタルデータでは、そんなことは有り得ない。だから面白い。私は主に1970～80年代のブツを好んで買っているが、製造されて何十年経ってもピカピカだし、劣化しそうにもない。当時の音が、逝ってしまったあのアーティストが、今でも目の前に蘇る。と思えば、現代のアーティストもレコードをリリースしている。BTSのレコードもあったりして、即完売していた。

私にとってレコードは最高の趣味だ。いつもワクワクや安らぎで心を満たしてくれる。でも、辛いこともある。昨年豪雨災害で自宅が被災、多くのレコードを処分した。悲しくてたまらなかった。そんな私を見かねた父が放った一言に感動。「レコードの溝には思い出も刻まれとるけん」…。嗚呼、素晴らしいレコードの世界。今宵もお気に入りの1枚に針を落とすとして。

外に出よう。

建築科 岡村 和哉

趣味でよく山登りへ出かけます。本格的に山を歩くようになって5年ほど、これまで185座の頂を踏みました。主に日本百名山・九州百名山・熊本百名山を中心に、週に1回足を運ぶマイペースな山行が多く、今年は北アルプスの3000m峰にも足跡を残せました。部活の後に軽装でふらっと出かけることもあれば、10kgの荷物を背負って山中を8時間ほど、登りの高さの合計が1800m（スカイツリーおよそ3本分）という日もありました。登山口までは長距離移動を伴うことも多く、日帰りが難しいときや日程にゆとりを持ちたいときは高所での車泊もします。厳冬期だと車内も-5℃ほどになるので過酷そうですが（過酷ですけどね笑）、標高1500mから眺める夜空の星は筆舌に尽くしがたい美しさです。ぜひ興味があれば。

…こんなことを話していると、よくこう言われます。

「休日にそんなに活動して、いつ休んでの？」

たしかに。

疲れは金曜日がピークです。多くの人はその疲労を土日（休日）で回復していると思いますが、私は肝心な日にこのように趣味に勤しんでいる…言われてみればどこで疲れを癒しているのか自分でもよく分かりません（笑）

ただ、ひとつだけ言えることがあります。山を歩くことで、確実に心はリフレッシュされているというこ

と。山を歩いていると、なかなか出会えない動植物に出会えます。急な登りはきついですが、登り切った時の達成感、そこから見える絶景、山頂で食べる山飯……こんな、普段の生活では味わえない非日常的な体験が私の気分をリフレッシュさせ、ついでに疲れも吹き飛ばしているのかもしれない。これからも未踏の頂を目指して、気ままに登っていきます。

最後に皆さんへ。学校生活や仕事に一生懸命なのは良いことです。それに加えて、趣味（私生活）にも一生懸命になってみませんか？晴れた休日。起きたら昼だった、スマホから顔を上げると日が暮れていた…それではもったいない！まだまだ知らない世界が皆さんの周りに溢れています。そして、それらとの出会いは必ず皆さんの人生を豊かにするはず。

だから、とりあえず外に出よう。

非日常的な体験が
 私の気分を
 リフレッシュさせ、
 ついでに疲れも吹き飛ば
 しているのかもしれない。



1月 2022.January 令和4年・睦月		木/thu	金/fri	土/sat	日/sun
		6	7	8 マイコンカー-全国大会	9 マイコンカー-全国大会
月/mon	火/tue	水/wed			
10 成人の日	11 (検) (服) 始業式	12 (検) (服) 基礎力診断テスト (1/2年)	13 SC 前期選抜出願受付 (~17日)	14 情報技術検定 1年生修学旅行事前指導	16 修学旅行 (1年)
17 SC 修学旅行 (1年) (検) 2年のみ	18	19	20 SC 代休 (1年生)	21 (短) 朝読なし 金④⑤ 【午後:生徒家庭学習】	23 【校内立入禁止】
24 前期 (特色) 選抜 【終日:生徒家庭学習】	25	26 学年末考査 (3年)	27	28	29
31 (検) 1年のみ 2学年修学旅行 出前講座 (3年)	1	2	3	4 工業基礎学力テスト 漢字検定	5 城南駅伝大会
					6 技能検定学科